

いちばん近くで、動く、働く、

公明党
川崎市議団

電力契約の 見直し図れ!!

電力契約を特定電気事業者(PPS)に見直すことにより、経費の削減を図れることから、本市における取り組みを質しました。

答弁では、すでに43施設で入札を行っており、19施設において特定電気事業者と契約を交わしていることが明らかになりました。

削減額は施設によって異なりますが、総額では1億円以上にのぼることも明らかになり、あわせて対象施設の拡大を求めました。

さらに最大電力の契約を見直すことが、大きく経費削減につながることから最新のプレーカー・システムの導入も提案し、今後の検討を約束させました。

市長に要望書を手渡す!!



公明党川崎市議団は、来年度予算編成に向けた要望書を10月11日、阿部川崎市長に提出しました。さまざまな施策と諸団体などの要望を含めた重点要望12項目を含む372項目の実現に向けた取り組みを要望しました。

被災地へボランティアバス運行!

東日本大震災により被災された方々を支援するため、川崎市社会福祉協議会の主催による待望の川崎市民ボランティアバスが8月に3回運行されました。行程は往復の夜行バスでの宿泊を含む3泊4日で、各回とも

約30名が参加。岩手県釜石市においてがれき撤去や側溝の泥かきなど復興支援に汗を流しました。これは公明党の議会質問が実を結んだもののひとつですが、これからも復興支援へ全力を挙げてまいります。

「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」の周辺整備を!

9月3日に川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムが開館しました。「夢」「希望」「友情」「勇気」などのメッセージを、子どもから大人まで幅広い世代に伝えていくための文化施設として開館したミュージアムは、開館以降平均来館者数：2000人/日と、連日の予約はほぼ満員の大盛況です。

ミュージアムの魅力・向上のため、多くの方々に足を運んでいただける新たな発信拠点として、アクセス路への「ベンチの設置」「トイレの設置」「案内サインの増設」を提案しました。

多摩区長は「来館者の状況を踏まえて、実情に応じた必要な対策を検討する」と答弁しました。



うつ病対策として「集団認知行動療法」の導入を!!

「うつ病」は今や、日本人の15人に1人の割合で、いつ誰がなってもおかしくない身近な病気です。そこで、うつ病対策として、集団認知行動療法(うつ病デイケア支援事業)に取り組み素晴らしい成果を出している、沖縄県総合保健センターを視察しました。代表質問では、本年4月から保険適用が開

始されたことを踏まえ、本市への集団認知行動療法の導入、環境づくりの必要性を訴えました。

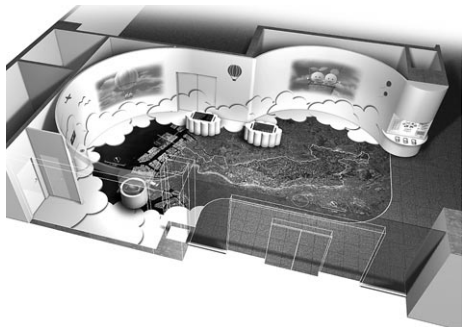
健康福祉局長は「福祉・医療関係者等の認知行動療法への理解のため研修等積極的な活用や、医療機関への普及啓発等、環境づくりに努めていく」と答弁しました。



お知らせ

「かわさきエコ暮らし未来館」オープン!

低炭素社会の実現に向けた取り組みを広くPRする環境学習施設が、臨海部の浮島にオープンしました。地球温暖化、資源循環、再生可能エネルギーなど、分野ごとの取り組みが、わかりやすく展示されています。隣接する浮島処理センターの展望スペースからは、国内最大級の大規模太陽光発電所(メガソーラー)も見学できます。



防災テレホンサービス稼働中!!

災害時等に屋外で放送する「防災行政無線」の内容が電話で確認できます。聞き取りにくかった時の確認にご利用ください。

☎0120-910-174
無料(神奈川県内の電話機からのみ利用可) 携帯・PHS・県外からは
☎044-245-8870
(通常の電話料金が課金されます)